

国公立  
大学  
では

北海道大学、宇都宮大学、横浜国立大学、首都大学東京  
新潟大学、富山大学、金沢大学、岐阜大学、京都工芸繊維大学  
愛知県立大学、滋賀大学、山梨大学、鳥取大学、広島大学 など

私立  
大学  
では

早稲田大学、東京理科大学、中央大学、青山学院大学、同志社大学  
立命館大学、関西大学、南山大学、名城大学、中京大学 など

国公立大学 39

北海道	1
室蘭工業	1
宇都宮	2
横浜国立	1
新潟	1
富山	3
金沢	1
福井	1
山梨	1
岐阜	2
滋賀	1
京都工芸繊維	1
鳥取	2
島根	2
広島	1
山口	1
青森県立保健	1
首都大学東京	1
新潟県立	1
富山県立	1
敦賀市立看護	1
都留文科	3
岐阜県立看護	1
長野	3
諏訪東京理科	1
静岡文化芸術	1
愛知県立	1
公立鳥取環境	1
島根県立	1

私立大学 279

国際医療福祉	2
城西国際	1
千葉科学	1
青山学院	2
國學院	1
国土館	2
駒澤	3
大正	2
中央	3
東海	2
東京理科	1
東洋	2
二松學舎	1
日本体育	1
文化学園	1
和光	1
早稲田	1
東京未来	1
神奈川工科	1
関東学院	4
ヤマザキ学園	1
東京医療学院	1
金沢工業	6
帝京科学	1
朝日	1
岐阜聖徳学園	13
岐阜保健大学	2
東海学院	3
中京学院	6
中部学院	5
岐阜医療科学	5
星城	2
名古屋学芸	10

愛知 4

愛知学院	20
愛知淑徳	16
金城学院	1
椋山女学園	2
大同	5
中京	10
至学館	1
中部	24
同朋	1
名古屋外国語	7
名古屋学院	20
名古屋芸術	1
名古屋商科	3
名古屋女子	2
名古屋造形	3
藤田医科	3
南山	2
日本福祉	19
名城	12
東海学園	6
愛知文教	1
名古屋文理	1
愛知工科	4
京都外国語	1
京都産業	2
京都橘	1
同志社	3
立命館	2
龍谷	4
関西	2
近畿	2
岡山理科	4
福山	1

短期大学 10

岐阜市立女子短大	1
岐阜聖徳学園大短大部	1
中京学院大中京短大部	4
平成医療短大	1
愛知学院大短大部	1
岡崎女子短大	1
名古屋文理大短大部	1

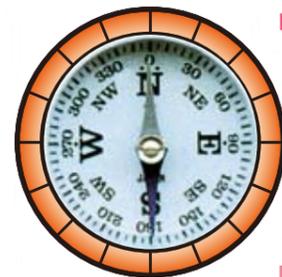
専門学校 22

岐阜県立下呂看護	3
岐阜県立多治見看護	8
藤田医科大学看護	1
国立三重中央医療センター三重中央看護	1
日本外国語専門学校	1
大阪テーマパーク・ダンス	1
名古屋製菓専門学校	1
名古屋工学院専門学校	1
HAL名古屋	1
アフロート美容専門学園	1
キャリアールホテル旅行専門学校	1
名古屋エコ動物海洋専門学校	1
名古屋ウェディング&ブライダル専門学校	1

就職 3

中津川市消防本部	1
中津川市職員一般行政職	1
日東工業株式会社	1

# COMPASS



羅針盤

◎合格体験記  
◎入試結果

さあ、  
スイッチを入れよう!

国公立大学39名合格!

平成31年4月8日 No.72  
岐阜県立中津高等学校 進路情報

『柔軟な対応力』 (第二中) 首都大学東京 人文社会学部人文学科

僕が受験を通して大事だと感じたものは「諦める勇気」です。一般的に「諦めない勇気」はよく知られていて、どのようなものか想像しやすいと思います。そして誰しもが「諦めない」から合格を勝ち取ることが出来ると思います。もちろん、2年生の冬の時期から志望校を絞って行きたい大学を諦めた方が良いとは思いません。ギリギリまで諦めずに取り組むに越したことはありません。僕もそうしてきました。「諦めない」ことが唯一の方法ではないということを知ってさえいれば、どんな行き詰まった状況でも柔軟に対応することができます。

---

『大切な3つの事』 (付知中) 静岡文化芸術大学 文化政策学部文化政策学科

私が大学受験を通して大切だと思う事は3つあります。1つ目は、毎日コツコツと取り組むことです。私は、学校や家までの移動時間・学校の休み時間などを有効に活用したり、ひたすら英単語を書いたりしました。自分に合った勉強法を早いうちに見つけておくの良いと思います。2つ目は、たくさんのボランティアや地域の活動に参加して自分の興味のある分野を知ることです。まだ興味のある学部がないという人でも、いろいろな活動に参加してたくさんの人と関わってみてください。3つ目は、周りへの感謝です。これから受験する皆さんには周りへの感謝を忘れず、結果も大事ですが、自分が後悔することの無いように頑張ってください。

---

『量の重要性』 (坂下中) 富山大学 経済学部経済学科

受験全体を通し僕が感じたことは積み重ねと量の重要性です。まず積み重ねの話です。最終的には今までに勉強したことをより多く理解していれば当然有利です。今の今から少しずつでも勉強していくことをおすすめします。次に量についてです。量か質かといった話は聞いたことがあるかと思います。どちらも重要ですが受験生という経験をして量の大切さを僕は知りました。やるかやらないかでいったらやるほうが自分のプラスに働くと思います。かなり重要なことです。多く勉強したほうが良いのははっきりと言えます。もちろん質も重要です。より質の高い学習をより多く積み重ねていって下さい。

---

『全力』 (苗木中) 島根大学 法文学部社会文化学科

合格できた最大の要因は、何に対しても全力で取り組めたからだだと思います。皆さんは、今、全力ですか。推薦試験でも、一般試験でも日常の生活は全て繋がっています。だから、週末課題や毎時間のようにある小テストもその場しのぎの勉強ではなく全力で取り組んで、試験を見据えて行動して行ってほしいです。また、勉強でも部活でも行事でも、一つ一つの事に全力で取り組むことが出来れば、自分の強みを生み出すことが出来るかもしれません。直接、受験に関係がなくてもどこかで役に立つことがあります。まだ時間があるうちに日常を見つめ直してほしいと思います。後で後悔しても取り戻すことはできません。後悔しないように「今」を全力で！！

---

『一步踏み出す勇気』 (釜戸中) 鳥取大学 地域学部地域学科

私は1年生の時から防災士の資格を取得したり興味があった進路に関するワークショップに積極的に参加したりするなど校外での活動にも取り組みました。これらの活動を通し、自分の知識や見方が広がっただけでなく色々な人とも繋がることができました。結果的に、これらの活動が自分の進路決定に大きく関わりました。何を始めるにもはじめの一步を踏み出すことは勇気のいることですが、行動することにより多くのことを得られると思うので積極的に行動してみてください。またきっかけはどこにでもあるので自分の興味がなかった分野の活動に参加すると新たな自分が見つけられると思うので挑戦してみるのも良いと思います。

---

『集中と切り替え』 (瑞陵中) 都留文科大学 文学部英文学科

私は受験勉強期間中で一番夏休みが重要だったと思います。私は夏休み前に、一日ずつ終わらせる範囲などを詳しく決めておきました。そうしたことで、意識をもって勉強できるようになりました。また、夏休みの平日はほ

とんど学校のコンパスに通って勉強するようにしました。自分に合ったところで、切り替えて勉強することが大切だと思いました。このようにして、毎日の長時間勉強の習慣をつけ、集中力をつけることができました。私は、夏休みからの勉強の習慣がその後の勉強生活に影響したと思います。だから、それまでに自分に合った場所や方法を見つけて、自分に合った方法で切り替えて勉強することが重要だと思います。

---

『今、あなたが持つべきもの』 (福岡中) 諏訪東京理科大学 工学部情報応用工学科  
もし、もう一度センターを受けられるならこれをおこなうことを書きます。1つ目は勉強の習慣をやることです。当たり前のことだけど、本当に大切だったと思います。2つ目は夏休みの過ごし方です。夏休みはとりあえず、基礎を徹底してやるべきだと思います。最後に、今受験生で、まだ時間があると思っている人は考えを改めてください。センターでいい得点を取れると、選べる大学が多くなります。受験に向けての雰囲気作りは団体でつくるものですが、結局は自分の努力量そのまま点数に直結すると思います。今、あなたが持つべきはケータイではなく、ペンです。受験は本当につらいと思うけど、勉強頑張ってください。

---

『スタートと忍耐力』 (第一中) 滋賀大学 経済学部経済学科  
僕が合格するために大事だと思うことはスタートです。6月に旭陵祭があり遅くても旭陵祭が終わったらすぐ本格的に受験モードに切り替えるべきだと思います。しかし実際にはこれでは遅いです。早めに進路を決めて計画的に勉強に取り組んでもらいたいです。受験勉強していく上で忍耐力などいろいろなことが必要になってきますが、そこで部活動での取り組みが役に立ったと思います。実際に、試合などで多くの緊張を経験してきたのでセンター試験本番ではあまり緊張しませんでした。勉強していると現実から逃れたいときがありますがそのような時でも逃げずにどれだけ頑張れるかで合格できるかできないかが決まってくると思います。

---

『二次試験を意識した勉強』 (坂下中) 室蘭工業大学 理工学部創造工学科  
私は航空宇宙分野の勉強がしたかったので、それらを学ぶことのできる大学を受験しました。私は結果的にはセンター試験の点数に助けられた形になりました。しかし、センター試験の勉強よりも二次試験を意識した勉強が大切だと思います。問題の難易を見たらそのレベルのいろいろな問題を見つけて解くことをお勧めします。志望校はなるべく早く決めたほうが良いです。早く決まれば、その分段階的にスケジュールが立てられます。やりたいことが決まっている人は、進路実現に向けて必要なことは何でも挑戦しましょう。まだやりたいことが決まっていない人は、今興味があることなどに関する情報などたくさん集めましょう。

---

『無駄なことなんてない』 (坂下中) 鳥取大学 農学部生命環境農学科  
受験を経験して受験は団体戦だということを強く感じました。友達がいたから不安のある中で頑張ることができました。一緒に頑張ることができる友達がいて、本当に良かったと思っています。いろんな人の支えがあり受験勉強を乗り越えられました。先生や友達、両親には感謝しています。自分の将来を考えてはやく志望校をきめ、その大学に行くためにどのように勉強をするべきかを考えて取り組むといいと思います。常に将来の夢を考えることでモチベーションは上がると思います。焦ることもこんなことやって意味あるのかなと思うこともたくさんあると思うけど、無駄なことなんてないと自分に言い聞かせて頑張りたいです。

---

『勉強時間を絞り出す』 (第二中) 富山大学 理学部数学科  
まず始めにやっておくのは、年間の学習計画を立ててみることでいいと思います。やみくもにやっても効率が悪いだけなので最初は目標と自分の差を考えてほしいの全体像をとらえたほうがいいと思います。概形をつくったら小さい計画(例えば、「1日50単語ずつやる」)をたてていきました。初めはきつめの計画でも大変だと思うのは最初だけでだんだんと慣れていくので、簡単だと思ってきたらその都度計画を変更していくといいです。あとは、

1日を自分はどうのように使っているのかを考えてどれぐらい勉強時間を絞り出せるのかを考えて隙間時間はインプット、数時間単位でとれるところはアウトプットに充てるといいと思います。

---

『受験は団体戦』 (第一中) 敦賀市立看護大学 看護学部看護学科

支えとなってくれたのが一緒に頑張っている仲間存在でした。休みの日に図書館やコンパスに行き勉強したり、お互いの勉強法のいいところを取り入れてやってみたりと高めあうことができました。つらいときには、周りの子も頑張っているから私も頑張らないといけないと思ひ頑張ることができました。「受験は団体戦」という言葉を聞いたことが何度もあったけど、本当にその通りだと思ひました。切磋琢磨しお互いを高めあうことができる友達やクラスでよかったです。中津高には、色々なことにチャレンジできる環境があります。親身になって指導して下さる先生方がたくさんいます。中津高で自分の目標に向かって頑張ってください。

---

『最後まで諦めない』 (付知中) 青森県立保健大学 健康科学部看護学科

大学を受験するという事はとても不安でした。もう頑張っても無駄ではないかとマイナスなことばかり考えることもありました。そんな中、以前担任の先生から言われていた「最後まで諦めなければ、合格できる。」という言葉や友達からの励ましのおかげで、最後まで頑張ってみることにしました。私一人では途中で諦めていたかもしれせん。周りの支えがあったから諦めずに頑張ることができました。これから進路や受験など不安になったり焦ったりすることも沢山あると思ひます。そんな時は、一人で抱え込まずに周りの人に相談してほしいです。努力は報われます。最後まで諦めず頑張ってください。

---

『二度と忘れない一年間』 (恵那西中) 福井大学 工学部電気電子情報工学科

僕は、部活動に最後まで取り組むことが大事だと思ひます。最後の大会ではあまりいい結果が残せませんでした。今まで三年間やり続けてきた成果が出たと思ひことができ、後悔なく受験勉強に進むことができました。部活動があった時の勉強時間はあまり覚えていませんが、部活動を引退した後は一日7時間ぐらひはやっていました。土日も、図書館などに行つて一日勉強していました。自分が最も苦手としていた古典の勉強では、単語を時間があればひたすら読むなどして、苦手教科を克服しようと頑張つてきました。物理と化学は一番苦勞したし、一番時間をかけました。この一年間は二度と忘れることができないと思ひます。

---

『自信をつける』 (付知中) 京都工芸繊維大学 工芸科学部デザイン科学域デザイン・建築学課程

私はAO入試を受験しました。AO入試では、5教科の学力や評定だけではなく、自分の得意分野や、高校在学中の活動、志望理由などが評価されます。AO入試を視野に入れている人は、すぐにでも興味のある学問や大学について調べておくとよいと思ひます。また、実際に足を運んでみることで、受験当日をイメージできるので、安心して受験に臨めると思ひます。志望理由書を書くときには、たくさんの先生方に添削していただき、助言を頂いたことで、自信を持って試験に臨めました。先生方は、本当に親身になって一緒に考えて下さるので、たくさんアドバイスを頂いて、納得のいく志望理由書を書くことが本番で自信につながると思ひます。

---

『当たり前のことを当たり前に』 (蛭川中) 都留文科大学 教養学部学校教育学科

推薦入試対策でやってよかったことは、とにかく過去問を解いたことです。はじめは自分一人で解いて、それを先生に添削してもらい、先生に話してもらったことを参考にして同じ問題を二回説いていました。入試前の一週間は一番初めに解いた過去問を解きました。すると、初めに書いた文章とは全く違つていて、二か月間小論文を解いてきた成果が表れていることを実感しました。また、日々の生活であいさつをしっかりとすることや掃除をまじめに取り組むことが当たり前にできたことは推薦を受けるにあたっての自信にもなりました。